

授業科目名	英語L・S	時間割	Aクラス： 曜 時限 Bクラス： 曜 時限 Cクラス： 曜 時限
担当教員名	廣渡 太郎	担当教員所属	看護学科
開講学年・時 期	第1 Semester	単位数	1単位 (30時間) 必修・選択 必修科目
授業の目的・目標	<p>【自己表現のための基礎英語コミュニケーションスキルの習得】</p> <p>英語を英語のまま理解し、実用的なコミュニケーション・ツールとして身につけるためには、日常的に英語に接して積極的に使おうとする姿勢が重要である。本講座では、スピーキングとリスニングを中心に、ライブ感あふれる実用的で多様な英語に触れながら、これまで培ってきた自分の英語力を真のコミュニケーション力へと向上させるのに必要な基本スキルの養成をめざしたトレーニングを行う。</p>		
授業計画	<p>第01回：CLASS GUIDANCE クラスガイダンス</p> <p>第02回：Introducing your classmate Say it in English!</p> <p>第03回：Asking for things on a flight Would you like chicken or fish?</p> <p>第04回：Answering questions Can I have your passport?</p> <p>第05回：Talking about family My mother has her own business.</p> <p>第06回：Asking for things you need Can I check my emails?</p> <p>第07回：Ordering a meal Are you ready to order?</p> <p>第08回：MOVIE THEATER "Spirited Away" Part I</p> <p>第09回：MOVIE THEATER "Spirited Away" Part II</p> <p>第10回：Asking for directions Where's the station?</p> <p>第11回：Getting Money at a bank Can I use my card in this ATM?</p> <p>第12回：Reserving a hotel room Do you have a non-smoking room?</p> <p>第13回：Getting help for medical problems I have a stomachache.</p> <p>第14回：Talking about your hometown I'm from Japan.</p> <p>第15回：FINAL EXAM 期末試験</p> <p>授業は、テキストによる“会話演習”“語彙習得”“文法理解”、および、毎回授業の始めに実施するリスニングの小テストで構成される。同時に、映画、テレビドラマ、CM等を用いた生の英語に可能な限り多く触れる機会をつくり、英語で自己表現するための基礎力を養う。</p>		
成績評価の方法	出席点（授業への参加度を含む）、平常点（課題提出・積極性等）、リスニング小テスト、期末試験の成績による総合評価。		
テキスト・参考文献	Buckingham, A. et. al. <i>Passport 1</i> Second Edition (Oxford University Press) Hirowatari, Taro. <i>Guess What? --A Vocab Quiz Book</i> (Cengage Learning)		
履修にあたっての留意点	英語力の養成は継続して学習することが大前提である。したがって、遅刻・欠席は出席点減点の対象となり、欠席回数が履修規定を越えた受講生は、事由の如何に関わらず「D」の成績評価となるので注意すること。		
備考			

授業科目名	中国語L・S		時間割	
担当教員名	張 雅麗	担当教員所属	非常勤講師	
開講時期	第3セメスター	単位数	1単位(30時間)	必修・選択 選択必修科目
授業の 目的・目標	<p>入門中国語の基礎的な能力を身に付くことを目的とし、次のことを到達目標とする。</p> <p>1) 中国語を正しく発音するための記号(ピンイン)を理解し、正しく発音できること。</p> <p>2) 中国語を用いて、日常の簡単な挨拶や医療現場での簡単な会話ができること。</p> <p>3) 中国語の初歩的な文法について理解できること。</p> <p>4) 日々の学習を通じて、中国の生活文化についての理解を深めること。</p>			
授業計画	<p>第1回：発音(あいさつ 1)</p> <p>第2回：発音(あいさつ 2)</p> <p>第3回：発音(あいさつ 3)</p> <p>第4回：人称代名詞、自己紹介</p> <p>第5回：是～「～です」の構文</p> <p>第6回：形容詞述語文</p> <p>第7回：動詞述語文</p> <p>第8回：疑問詞による疑問文</p> <p>第9回：数字に関連する表現(日付、曜日、時間)</p> <p>第10回：「有」の構文(1)所有を表す、(2)存在を表す</p> <p>第11回：量を表す量詞</p> <p>第12回：完了を表す助詞</p> <p>第13回：手段を表す連動式</p> <p>第14回：まとめ</p> <p>第15回：試験</p>			
成績評価の 方法	平常点(受講態度など)と期末試験で評価する			
テキスト および 参考文献	○	書名：中国語入門ポイント45	出版社：三修社	著者：山下輝彦
テキストには ○印		書名：	出版社：	著者：
		書名：	出版社：	著者：
		書名：	出版社：	著者：
		書名：	出版社：	著者：
履修にあつ ての留意点				
備考				

授業科目名	フランス語L・S		時間割		
担当教員名	佐藤 猛	担当教員所属	秋田大学教育文化学部		
開講時期	第3セメスター	単位数	1単位(30時間)	必修・選択	選択必修科目
授業の目的・目標	フランス語の初歩的な表現とその背景にある文化や歴史を学ぶことを通じて、赤十字の設立者アンリ・デュナンが用いた言語のひとつ、フランス語の世界の一端を習得する。				
授業計画	<p>【授業の概要】</p> <p>フランス語の初歩的な表現のいくつかについて、進行予定に示したテーマごとに学んでいく。その際、それらの表現が実際に用いられる場面をイメージしながら、フランス語の表現とともに、フランス語が用いられてきた文化や歴史を学ぶ。</p> <p>【進行予定】</p> <p>①挨拶の表現／②発音の方法／③人名や地名の発音／④アンリ・デュナンの母国スイスの言語状況／⑤フランス語の歴史／⑥食品や医療関係のフランス語／⑦自己紹介／⑧いくつかの人称代名詞（わたし、あなた、彼、彼女など） ①～⑧の順番は未定*</p> <p>【進め方】</p> <p>講義形式で進める。フランス語の教科書や文法書は用いず、テーマに沿ってプリントを配布する。ただし、フランス語が用いられる場面を想像してもらうため、できるかぎり視覚教材（DVD や現地で撮影した写真）を用いることを心がけたい。</p>				
成績評価の方法	<p>・出席：30%（テーマの区切りごと、不定期にアンケートをかねた出欠を確認）</p> <p>・試験：70%（学期末に一回、試験をおこなう） *以上100満点で評価*</p>				
テキストおよび参考文献	書名：	出版社：	著者：		
テキストには○印	書名：	出版社：	著者：		
	書名：	出版社：	著者：		
	書名：	出版社：	著者：		
履修にあたっての留意点					
備考					